

HOP, STEP,
JUMP
in
標津

萌える海と大地 さわやか交流郷



No.395



迎春

2000年の舞台で
飛躍する標津町

謹んで新春の ごあいさつを申し上げます

標津町長

小田桐 四郎

町民の皆様、明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新年を皆様とともに迎えできましたことを謹んでお慶び申し上げます。

また、昨年中は町政の推進に一方ならぬご支援・ご厚情をいただきましたとともに、一年を通して実施してまいりました記念式典、町民祭り「水・キラリ」をはじめとする一連の標津町百二十年記念事業について、町民の皆様方の並々ならぬご苦労とご努力によりまして、そのいづれもが盛会を極めた中で終えることができました。

深く感謝を申し上げますとともに心よりお礼を申し上げます。

さて、平成十一年を振り返ってみますと、戦後最悪といわれました景気動向が、国の経済対策や企業の自助努力、金融機関の正常化などから、かすかながら経済の動きに薄日が差し込んできたと言われる状況下で、本町にあっては一年を通して多様な百二十年記念事業が催されました。

その中で、四月に総合交通対策事業（町営バス）委託運行）

がスタート、議会議員選挙で新人議員二人の誕生、七月四日の記念式典を経て八月七日に待望の一回目となる標津町民祭り「水・キラリ」を迎えました。

新しいまわりへの町内外からの注視、大きな不安と期待が交錯する中で執り行われた町民祭り「水・キラリ」でありましたが、町内会や経済団体など地域住民が一体となって取り組んだ



標津町長 小田桐 四郎

成果は、町内外から両日にわたって駆け付けた観衆延べ三万人にも及ぶ賑わいで幕を閉じ、大盛会を極めるとともに次回以降の開催に大きな期待と自信を与えてくれました。

一方、基幹産業を取り巻く状況は、今夏の記録的な猛暑の影響を受けて、酪農にあつては、二十四頭の乳牛が日射病、熱射

病を発症し、四頭が廃用となるなど乳牛個体へのダメージも大きく夏場の生乳生産が減少となりましたが、九月以降から順調な回復を見せていることから、乳牛個体販売額が単価の低迷で減少しておりますが、総体の生産額は昨年並みを確保できる状況で推移しております。

また、漁業にあつてもサケ定置網漁が全道的に不漁の中で、標津沿岸をはじめとする根室海区では、前年より一九％増となる水揚げと原魚不足により単価が高値維持されたことも加わって、本町では前年を十五億三千万円上回り平成三年以降最高となる五十億五千万円の漁獲金額が記録され、久しく低迷しておりましたサケ定置網漁でありますだけに生産者ともども喜びに堪えないところであります。

さて、いよいよもって今世紀最後の一年を迎えました。

十世紀、人類にとつては生

活文化、産業経済のみならずあらゆる分野で飛躍的に発展を遂げた世紀と言われ、一方においては戦争と殺戮の繰り返し、破壊の世紀とも言われております。

戦後からわずか三十年余りの短い時間で先進国の仲間入りを果たし、世界に冠たる経済大国として君臨しておりましたわが国にあつても、国際社会における冷戦終決などによる地球規模での様々な価値観の変化や十年前に起こりましたバブルの崩壊による経済のきしみから、政治、産業、行政、教育など社会の仕組みやシステムの制度疲労と行き詰まりが指摘され、新しい世紀に向けた大胆な改革の潮流が渦巻く中で、時の内閣による社会の六つの大きな構造改革などが進められてまいりました。

その間、経済を取り巻く環境は、戦後最悪と言われる状況下に進み、国・地方を問わず逼迫の度合いが増す財政状況の中で、今世紀に残された少ない時間の中で社会再生への取り組みが急がれる一方で、その対応を誤ると経済のみならず政治、教育などの再生の機会が失われると言われている最後の一年を迎えました。

今世紀の総決算を求められる

本年は、これまでにない社会の大きな変化が予想され、この状況は、国・地方ともに痛みを伴い、特に財政的に国への依存度が高い地方自治体にとっては、

これまでに例のない厳しい財政状況下におかれることになり、ますが、基幹産業であります酪農・漁業の振興に新農業基本法や今後に制定される水産基本法への適切な対応を図るとともに高齢者・児童福祉をはじめゴミ問題、環境、防災など係る喫緊の課題に強固な足場を築いて二十一世紀の新しい時代に引き継ぐために成し得る最善の努力を致す所存でありますので、町民の皆様の変わらぬご支援・ご厚情の程をよろしくお願い申し上げます。

年頭にあたり、所信の一端を申し述べ、町民の皆様にとりまして本年が、最良の年でありましてことをお祈り申し上げます。新春のごあいさつといたします。

標津町議会議長

荒谷良治

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい平成十二年の新春を皆様と共に

に迎えることが出来まして大変うれしく、心よりお慶び申し上げます。町議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

顧みますと、平成十一年も国の内外を問わず、激動変革の深刻な年でした。世界情勢は一発触発を感じる核開発や実験がひそかに行われ、日常経済より武力優先で、飢えや寒さに苦しむ想像に絶する生活をしている姿が映像に入る一方で、宗教や人種差別による紛争や衝突で多くの犠牲者が続出。この様子を見たり聞いたりするたび、私達は他国と比べていかに安心、安全で衣食住に恵まれ過ぎており、限りある資源や物資の貴重な存在、大切さを忘れ、浪費というより、捨てることを正当化する日常がゴミ問題に発展している様に思われます。

また、異常気象は年々激しく、気温の上昇や低温、熱射や干ばつ、大洪水、寒波などによる被害はあまりにも大きく、文明の発達と人為的過剰な森林伐採や化石燃料による自然環境の破壊のためといわれています。災害は忘れたころにやってくるといいますが、阪神大震災後、トルコや台湾においても超大型の地震が発生。道東沖の地元の地震

も日時が経過して行くと備えも忘れていたのではと心配しています。

本町の基幹産業である農漁業においては厳しい経済不況と社会の著しい変動の中で、国際競争に耐え得る経営強化のため、体質の改善が望まれてきています。

酪農では、猛暑が続き、搾乳



標津町議会議長 荒谷良治

心配されましたが、価格は高値で、その後順調な水揚げが続き、全道的には数量、金額が落ちるも本町は前年比百十三%の一万余トン強で五十三億円となり、単位漁協ではサケの水揚げ日本一の座を守ることができました。

昨年、本町は明治十二年戸長役場の設置から百二十年を迎えました。開拓の歴史は元禄年間からサケ・マスなど水産物が豊かで、開拓は内陸部へも進み、厳しい自然条件を克服して豊かな酪農地帯が

築き上げられた訳で、幾多の先人のご労苦に感謝申し上げます。次第です。

七月四日、記念式典を挙げて二十一世紀への新たな飛躍を誓い合い、町の発展に功績のあった方への表彰や、町内外から多数の参加をいただき盛大に執り行われ、友好都市の青森県大畑町からは三百年の伝統をもつ、大畑八幡大祭の「飾り山

車・鞍馬山」が披露され、さすが伝統の重さを感じました。

八月七日、八日は標津町民祭り水・キラリが行われました。町民組織の検討委員会が三年以上の歳月をかけて練り上げ、本町にふさわしい「水」をテーマに取り入れ、素晴らしい演出で四台の山車と祭り囃子やキラリ音頭と、踊りには老若男女数百人が波を打ち、沿道は町内外や東京、札幌の郷土会の方々もかけつけ、開町以来の総動員と見物客でにぎわい、心配をよそに祭りは成功。今後伝統としての祭りが何時迄も継続されることが大切であります。

間もなく二十一世紀。地方分権も昨年七月十九日、四百七十五本の法律が分権一括法として成立。改正地方自治法が全面的に施行される日も目前に迫って来っており、町民の代表機関としての議会活動の充実強化のための議会改革や、決定機関としての批判監視の責務を念頭に地方分権時代にふさわしい、町民に開かれた議会づくりに努力して参ります。

終わりに町民の皆様、御健勝と御多幸を御祈念申し上げます。新春のごあいさつといたします。

議場で英語弁論、 リコーダー演奏披露



定例町議会が開会した十二月十四日、全道大会に出場する標津高校生徒による英語弁論と、リコーダーアンサンブル演奏が議場で披露されました。

同校教育振興会が同校の活動を広く知ってもらおうと企画。英語弁論を披露したのは、十一月に開かれた北海道高校英語弁論大会釧根地区大会で優勝した畑中優作くん（一年生）。約五

分間にわたり、身振りを交えて堂々とスピーチしました。

リコーダー演奏は、十一月に開かれた根室管内リコーダーコンテストの合奏部門で金賞に輝いた吹奏楽部七人（一年生）が、三曲を演奏（写真）。その見事な腕前を披露しました。

議会議員や町職員、傍聴者ら約四十人は、熱心に聞き入っていました。

ワインとジャズに 酔いしれる

町内の音楽愛好者で結成している「カムイ・チェップ・ジャズ・オーケストラ」のジャズ&ワインコンサートが十一月二十七日、あすばるで開かれました。ワインを飲みながら気軽な雰囲気の中で、ジャズを楽しんでもらおうという初の試み。

会場には、約百三十人の聴衆がグラス片手にワインを味わいながら、演奏に聴き入っていました。



もちつきで交流 深める



町手をつなぐ親の会主催の「ふれあいもちつき会」が十二月十一日、標津小学校体育館で開かれました。

もちつきを通じて知的障害者と健常者との交流を深めることが目的で、今年で六回目。同协会会员や町内の児童・生徒、障害児のほか、町内に実習農場を持つ（社）竜雲学園の知的障害者ら約百三十人が参加しました。三十キ。のもちをつきあげ、雑煮やきな粉もちにしておいしく食べました。

元島民の生の声を 子供たちに伝える

北方四島・元島民の生の声を子供たちに聞いてもらい、今後の北方領土返還運動を次世代に受け継いでいくことを目的に「四島の語り部トーク」（根室支庁主催）が、11月26日・川北小学校、12月1日・川北中学校、同17日・標津高校で開かれました。

四島の語り部トーク



講師は本町の高桑実さん（国後島出身・70歳）。小学4年生の頃、すでに一家の働き手だったことやカニ二簞が今では考えられないほどいっぱいになったことなど、当時の島のようすのほか、島から引き揚げる際に小学校の頃から船の櫓を漕いでいたことで、なんとか船で根室にたどり着いたことなどを熱っぽく語り、児童・生徒は真剣に聞き入っていました。

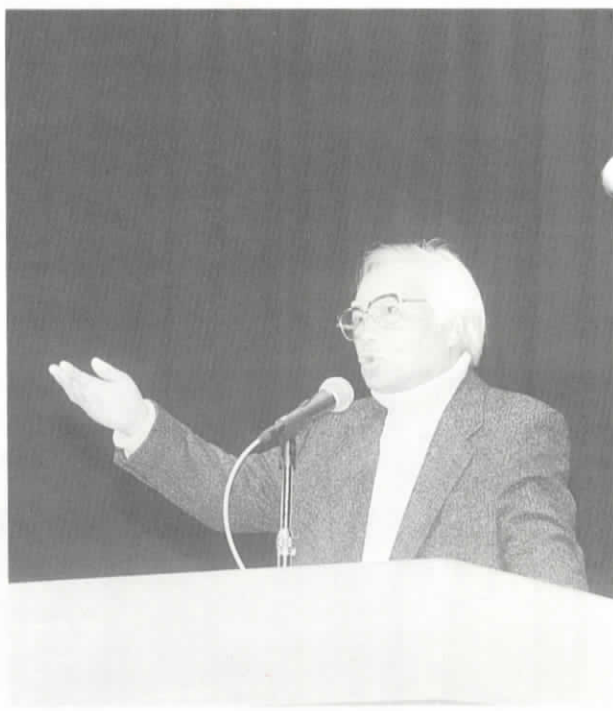
「世の中の主役と 脇役を間違えずに」

元川北中学校教諭で、その後座頭市や兵隊やくざシリーズなどが代表作のシナリオ作家として活躍中の東條正年さん（山口県在住）の講演と、女優・香名むつみさんの一人芝居が町百二十年記念行事として十一月十九日、文化ホールで開かれ、約三百五十人が会場を訪れました。

東條さんは、「ドラマの中の主役と脇役」主客転倒は乱れの因をテーマに講演。シナリオ作成時の秘話や座頭市シリーズが誕生するまでの経緯など映画・ドラマの裏話だけでなく、現代の学校や家庭が抱えている問題にも触れ、「家庭や学校で本来主役である子供たちが主役

として扱われなくなったことが、学級崩壊などにつながっている」と指摘。ドラマ同様に、世の中でも主役と脇役の役割を間違えるとうまくいけなくなる」と語りました。

講演会に引き続き、香名さんが一人芝居「譬女（こぜ）春秋」で、三味線を弾き、歌を歌って生活している盲目の女「おえん」を熱演しました。



水産加工品を格安 販売

標津前浜で獲れた水産物の加工品を格安で販売する「第一回町水産加工品まつり」（町水産加工振興協会主催）が十一月二十八日、あすばるで開かれました。

会場には、サケやホタテなど約百三十種類の加工品がずらりと並び、売れ行きは上々。また、サケの皮を使ったブレザーなど珍しい製品の展示や、あきあじなべの試食販売のほか、高級魚「ケイジ」をはじめとする豪華商品が当たる抽選会も行われ、会場は町内外から二千人を超える人でにぎわいました。



標津高校ボランティア委員会 らが救命講習受講

十二月八日、標津消防署で標津中学校の生徒一人と標津高校・ボランティア委員会の生徒六人、同高校教諭三人の合わせて十人が普通救命講習会を受講しました。

学校の生徒を対象とした講習会は、今回が初めて。消防署員の指導のもと、ダミー人形を使い人工呼吸や心臓マッサージなどの実技を真剣に取り組んでいました。

なお、同署では随時、同講習会を開いており、多くの町民の方々と各事業所などでの受講を呼び掛けています。



サケ定置漁業者の 有志が町に寄付

十二月十三日、サケ定置漁業者のうち、三十三の有志を代表して坂口孫一さんが町に三百六十万円を寄付しました。



町の交通安全指導車が十四年を経過していることから、この購入費にと寄付。小田桐町長は「新しい車で、さらに交通安全運動を推進していきたい」と話しています。



お年寄りと仲良く 交流

古多糠小中学校の児童、生徒三十五人が十二月四日、はまなす苑を訪ねました。



ボランティアの体験を通して自分自身の生き方を考えるのが目的。車いすを体験した後、一カ月ほどかけて放課後などに練習してきたハンドベル演奏（写真）や歌、紙芝居などをお年寄りの前で披露。また、お手玉などの遊びを通して交流し、お年寄りは大喜びでした。

信金が社会福祉 基金として寄付

根室信用金庫は、お客さんへの年末のお歳暮を廃止し、その分を社会福祉基金にと十二月十七日、同金庫・大桃博之標準支店長から町に寄付されました。

自分たちが作った そばの味は最高

12月7日、川北小学校児童会と川北地区親子ふれあい推進委員会共催で、同校を会場に子供たちが「そば屋」や「たこ焼き屋」などを出店し、親子や地域の人でにぎわいました。



体験学習を通して、地域の人々とのふれあいなどが目的。メインとなったのは、そば屋。子供たちが学校周辺の畑で、春にそばの種をまき、草取り、収穫まで自分たちの手で行って来ました。

当日は石臼でひいて、そば粉を練り、形は短く不ぞろいでしたが、おいしいそばが出来上がりました。指導にあたった矢部武さん（北川北）は、その出来映えに目を細めていました。

「お客さんを笑顔で迎える大切さ学んだ」

十一月十九日、標津中学校三年の生徒四十六人は、十月に行

った「職業体験学習」の結果をそれぞれ発表しました。

この体験学習は、生徒が町内の商店などに一日働くことで、

①地域を知ってもらう②働くことの意義やその苦労、喜びを体得してもらう③将来の進路選択に役立てることなどを目的に、同校では初めて実施されました。

生徒たちの発表で

は、「お客さんを笑顔で迎えることの大切さを学んだ」「働くためには職場のチームワークが必要」「今回は体験だったが、今度は従業員として働きたい」などと、体験の感想を話しました。

アルプス空手道大会で活躍



全国から三十五の道場が参加して長野県松本市で開かれた第十回アルプス空手道大会で、本町の弘道会標準支部の選手が活躍。園児・小学一、二年形の部で佐藤義晃くんが準優勝、同部で馬渡亮太くんが三位。小学三、四年形の部で佐藤光将くんがベスト八に入りました。

SPOT RIGHT ON YOU



あなたに スポット

7

「ワインは、一つ一つに個性があり、味わいはバラエティーに富んでいます。この味わいにおもしろさと感動があるんですよ」とワインの魅力を話す山本さん。

山本さんが働いているお父さんの経営するお店には、六百種類を超えるドイツやフランス、イタリアなど世界を代表するワインが陳列されています。そのほとんどが輸入業者を通じて、個人の生産農家から取り寄せたもの。ぶどう栽培から醸造、びん詰めまで丹精込め、生産量も限

られた手造りの逸品ということから、道内各地のワイン愛好家がいかに求めにくるそうです。

このこだわりは、輸入ワインが日本に届いてきた十年ほど前に、名古屋で輸入ワインを取り扱っている人と知り合ったことから始まったそうです。

世界各地の個人のワイン生産農家を直接訪ね歩いていくこの人から、興味あるいろいろな話を聞くと同時に、その人が取り扱っているワインをいくつか飲ませてもらい、感激したといいます。「今までの輸入ワインの

味わいとまったく違う。大量生産のワインの味は安定しているが、個人生産者のワインの味わいには近づけない」。以来、個人生産者のワインに興味を抱きました。

「現地のぶどう畑を自分の目で直接見てみたい。生産者に会いたい。どんなふうにワインを

ワインにこだわって…

やまもと ゆういち さん
山本 祐一
(川北桜ヶ丘町)

造っているのだろう」との思いを胸に、山本さんは平成六年にフランス、同九年にドイツへと足を運びました。

そこでは、多くの生産農家やワイン商に出会う

ワインをこよなく
愛する山本さん

ことができました。

ドイツでは、世界的に有名な蔵元にも行き、二十数種類ものワインを口に。「ドイツワインが持つべきものをすべて持ち合わせていました。かつて経験のない、何とも言えないすばらしさがありました。驚いたのは年数が経っているのに、味わいに若々しさがしつかり残っていたのです」と感激の様子を話します。さらに、世界のワインオークションで一本数十万円の値段がついたワインも口にし、その味わいのすばらしさに声がでなかつたといいます。

また、山本さんは地域でも多くの人にワインを楽しんでもらおうと活動中。冬まつりやジャズコンサートでは、自慢のワインを出しては好評を呼んでおり、月一回のワインパーティーでは、仲間を囲んで標津の海の幸を使った料理で、さらにおいしいワインの味わいを楽しんでいます。

「造り手の顔が見えるようなワインがあることを多くの人に知ってもらいたい。これからワインという友人」と付き合い合っていきたい」と山本さんは話します。

BOOK ROOM

☆おすすめ新着図書☆



「日本の論点2000」

文芸春秋編 文芸春秋

皆さんは、1999年にどんな思い出がありましたか。テレビや新聞で話題になったことを思い返しながら、じっくりと振り返ってみてはいかがでしょうか。

*詳しい新刊案内は、図書館や公共施設などに置いています。

今月の特集 「世界の国々」

世界各国のパンフレットを展示しています。色使いなどに、その国々の特徴がよく現れていて、見比べるととても興味深いものです。貸出はしていませんが、館内でゆっくりご覧下さい。

〈出前文庫のご案内〉

こんなところにも、図書館の本があります！

- ・ 標津町生涯学習センター「あすばる」
- ・ 川北生涯学習センター
- ・ 渡辺歯科医院
- ・ 標津病院

どうぞご利用下さい。

〈図書館利用案内〉

- 開館時間 午前10時～午後6時
- 休館日 毎週月曜・祝祭日・年末年始

確定申告の 医療費の範囲は？

みんなの広場

MINNA NO HIROBA

あなたの声を
このコーナーに
お寄せください

Q

私は、今年病気で長期
間入院し、治療費や入院
費など相当多額の費用がかかり
ました。来年二月十五日から始
まる確定申告で、医療費控除を
受けたいと思います。しかし、
一般的に医療費といっても、控
除の対象になるものとならない
ものがあると聞いています。控
除の対象になる費用、ならない
費用について教えてください。

診療や治療のため の費用が原則です

A

医療費控除の対象と
なる費用は、診療や治
療のための費用が原則となつて
います。

なお、対象となる費用及び対
象とならない費用の主なものは

- ① 次のうち、その症状に応じて
一般的に支出される水準を著
しく越えない部分の金額
- ・ 医師、歯科医師による診療費、
治療費及びそれに必要な医薬
品の購入費
- ・ 病院や診療所、助産所、老人
保健施設に収容されるための
費用
- ・ 治療のためのマッサージ師、
はり師、きゅう師、柔道整復
師などによる施術費
- ・ 保健婦や付添い婦などによる
療養（在宅療養を含む）上の
世話の費用
- ・ 助産婦による分べん介助料
- ② 次のような費用で診療や治療
を受けるため直接必要なもの
- ・ 入院や通院に通常必要な交通

★お問い合わせは、税務課まで。

- ・ 対象とならないもの
- ・ 医師などに対する謝礼
- ・ 健康診断や美容整形の費用
- ・ 疾病予防や健康増進のための
医薬品や健康食品の購入費
- ・ 親族に支払う療養上の世話の
費用
- ・ 通院のための自家用車のガソ
リン代、分べんにより実家へ
帰るための交通費

- ・ 費や義手、義足、松葉杖、補
聴器、義歯などの購入費
- ・ 六カ月以上寝たきり状態で
おむつの使用が必要であると医
師が認めたおむつ代
- ※ただし、保険金などで補てん
される金額は、医療費から差
し引かれます。

ご意見やご要望など お寄せください

〈あて先〉
標津町北2条西1丁目1番3号
役場企画振興課
「みんなの広場」コーナーまで

このコーナーでは、町や広報紙に対するご意見や要望などをお待ち
しています（紙上では名前は掲載しません）。なお、匿名や個人・団
体の中傷となるものはご遠慮ください。

1999年標津沿岸の シロザケ(アキアジ) の現状

標津の海と川のサケたち



標津サーモン科学館
小宮山英重主任学芸員

19

一九九九年は、異常に暑い夏でした。年平均気温が七度と寒冷な気候が特徴である標津としては異例で、八月の最高気温が三十四度を記録した日がありました。この暑さの影響で、ようか、一年の中で一番海水温が高くなる九月の標津沿岸の表面海水温が去年より三〜四度高い二十度前後となる日が続きました。二十度以上の状態が長く続くとシロザケは生きていけま

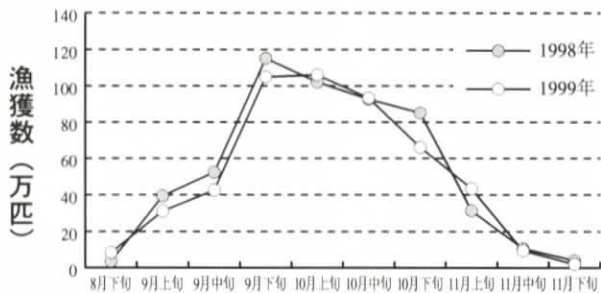


図1 標津漁協におけるシロザケ(アキアジ)の漁獲数の変化 (標津漁協の資料より作成)

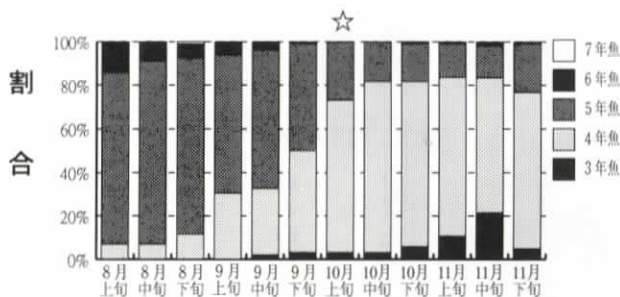


図2 1999年標津産シロザケ(アキアジ)の年齢構成の旬別変化 (正栄丸漁業部との共同研究の結果)

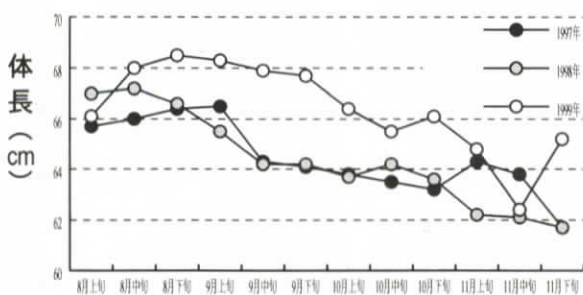


図3 標津前浜産シロザケ(アキアジ)の体長の変化 (正栄丸漁業部との共同研究の結果)

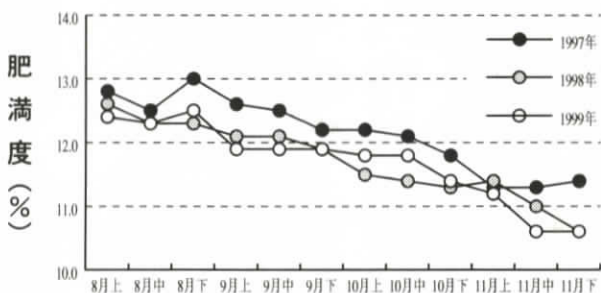


図4 標津前浜産シロザケ(アキアジ)の平均肥満度の変化 (正栄丸漁業部との共同研究の結果)

せんから大変な年になりました。近年、標津沿岸では、九月下旬にシロザケ(アキアジ)が一番たくさん獲れることが多いのですが、今年は、それが十月上旬と若干遅くなりました(図1)。四年魚と五年魚の多さの割合の転換が例年九月中旬に起きるのですが、今年はそれが十月上旬(☆印)になりました(図2)。このずれは、サケが九月の暑さを避けるため涼しい深みに長くいたためと予想されます。ただし、図1のグラフを見る限りでは、それほど暑さによる漁獲数の大きな変化はないとも言えますので、「さすがに寒さ

を売り物にしている標津ならではの結果」という気がします。北海道全体では、今年は、例年になく特異的な暑さだったためサケの回帰量が今後どうなるのかの予測をするのが難しい年になりました。しかしながら、標津では十一月のサケ漁が終わってみると、全体としては、例年通り四年魚が一番多いことには変化がありませんでした。そして、前期群(九月に回帰するアキアジ)で五〜六年魚(高齢のサケ)が少し増えているという最近の傾向も変わります。

今、完成された増殖技術を維持し、健康な稚魚を生産していれば漁獲量に大きな変化は起きないと思われます。また、今年のサケは去年より体は大型になっている(図3)にもかかわらず肥満度をみると去年と同じようにやせていました(図4)。これは、年齢がさらに高くなったことも関係しています。すなわち、北洋でのエサが足りないため大人になるまで余分な年数が必要になってきている可能性が高いわけですね。

と予測した仮説は一部当たっているようです。標津産のサケたちはたくましいので、どうやらエサ不足でも当面は、北洋に長くいることによりゆつくりではあるが確実に成長し、そして故郷の川へ帰ってくる(五、六年魚が増えて高齢化が進む)という対応をしているようです。北洋のエサ資源がいつ多くなるのか今は分かりません。もし、長期間回復しないようなら、毎年沿岸に回帰する親ザケの変化を見極めて、日本を旅立つサケの稚魚の数をどうするか真剣に検討しなければならぬでしょう。



笑顔いっぱい リハビリ教室

区切りの良い二〇〇〇年の幕開け、新しい年、新しい気持ちで今年の目標を立てている方も多いのでは？。個人的には、明るく楽しくいきいきと毎日を過ごすことが出来たら・・・何も言うことなし！ですね。

「明るく楽しくいきいきと過ごす」言葉で言うのは簡単だけれど、実際はなかなか難しいこと。それが病気になったり、からだに不自由さがあればなおさらです。そこで今回は、この難しいことにチャレンジしようとしている皆さんを紹介します。

リハビリ教室を 覗いてみると

月の始めのある日の午後、ひまわりのホールから、にぎやかな声が聞こえてきます。
「そーれいくぞー！」
「今度は負けないから！」

何をしているのか、覗いてみると、そこには闘志に燃え、白熱したゲームを繰り広げる人たちの姿があるのでした。みんなが行っているのは、「空缶ボーリング」というゲーム。空缶をボーリングのピンにみたくて、

ゲートボール用のボールを使います。ルールはボーリングとほぼ同じ、チーム対抗戦です。空缶のピンをよーく見てみると、色とりどりのテープでキレイに飾られています。

「あつ、ガーターだ」

「次はがんばって！」

ゲームはさらに佳境へ進み、みんなの目はますます真剣そのものです。

教室は何のために あるの？

そろそろゲームはおしまいとなったようです。みんなは身仕度を始め、家へ帰る支度を始めています。

「それじゃ、また来月！」

「また、会いましょうね」

あいさつを交しながら、家路へと向う人たち。一見元気な皆さんですが、実は脳卒中の後遺症や、事故の後遺症、リウマチや膝関節などの痛みなどがありながら、家庭で生活されている方々なのです。

月に一度、昨年四月から始ま



昨年八月、リハビリ教室で行った標茶町へのバス遠足のひとコマ。皆さん、とても楽しそうです。

つたこの集まりは、その名も「リハビリ教室」。在宅での生活を続けるため、身体機能の向上・維持を目的に、リハビリを行なっています。

「空缶ボーリング」がリハビリなの？と疑問を持つ方もいることと思いますが、これは立派なリハビリなのです。ボールを持つて立つ、ねらいを定めて、ボールを投げる、簡単そうに見える動きでも、様々な身体機能を使わなければなりません。

楽しみながら、リハビリもできる、まさに一石二鳥です。空缶で作ったピンも実は参加者の皆さんが作ったものです。ピンのデザインを考えたり、テープを選び、ハサミで切る・・・これも脳や指先のリハビリになります。

その他にも、リハビリ体操を行ったり、季節ごとの行事として、お花見、クリスマスツリー作り、バス遠足にも行きました。また、定期的にリハビリ専門の療法士に身体機能をみてもらったり、一緒にゲームを楽しむこともあります。

身体もリハビリ、
こころもリハビリ

身体もリハビリ、 こころもリハビリ

そしてもうひとつ、リハビリ教室の大きな目的に「こころのリハビリ」があります。同じ悩みを持つ者同士ならば気軽に話

せる・・・と、励ましたり、励まされたり、仲間づくりの場にもなっています。

病気になる、家から外に出るのがおっくうになったり、人に会うのが面倒になったり、家の中にこもりがちになってしまっています。するとますます身体機能は衰えてしまい、家から出たくなってしまう。まさに悪循環ですね。この悪循環を予防するためにもリハビリ教室は役立てられています。

教室の対象者は？

現在の教室参加者は九人。毎回全員が集まることは少ないのですが、楽しい時間を過ごしています。

現在のところ、教室の対象者は、脳卒中や事故の後遺症などでリハビリが必要な方（デイサービス利用者を除く）となっています。

リハビリ教室は、できるだけ「介護」を必要とせずに、いつまでも元気で過ごせるために利用してもらいたい教室です。



教室についての問い合わせは「ひまわり」(☎2-1515)まで、お気軽にご相談ください。

第一号被保険者（六十五歳以上） の保険料徴収は今年の十月から

今年四月からの介護保険制度のスタートに向けて、被保険者から徴収する保険料やサービスを利用した場合の本人負担額の軽減等について新聞等で報じられているところですが、今回はその要点についてふれてみたいと思います。

10

保険料の軽減について

○第一号被保険者

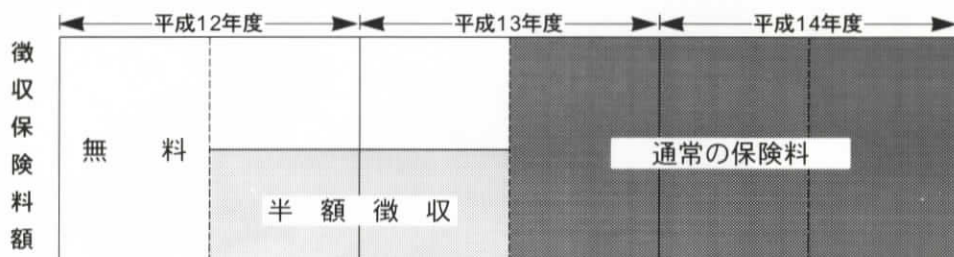
介護保険制度の本格的なスタートに向けて、認定手続きやサービスの利用方法、また、高齢者の方々が新たな負担に慣れていた

みんなで支える

平成12年4月から

介護保険制度が
スタート!

平成12年度から14年度における介護保険料徴収額



月から九月までの半年間は保険料を徴収しなくてもいいこと、さらに半年が経過した平成十二年十月からの一年間は高齢者の保険料を半額に軽減することとしております。

○第二号被保険者

第二号被保険者（四十歳から六十歳）の方々が加入する医療保険者に対し、今まで医療保険料として負担してきた費用が介護保険制度施行に伴い、従来より負担増となる額の一部分を国が支援することとしており、第二号被保険者の保険料軽減に配慮しております。

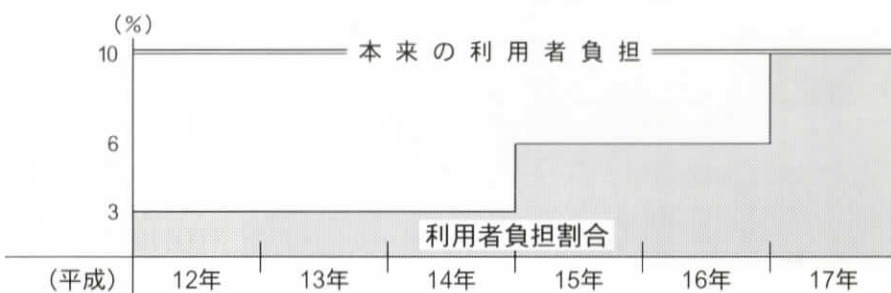
低所得者の利用負担の軽減について

介護保険制度においては、介護サービスを利用した場合、かかった費用の一割を負担していただくこととしており、低所得者については、高額サービス費等について特例を設けています。これに加えて介護保険の導入に伴う激変緩和の観点から、低所得者の利用者負担軽減について、さらに次のような措置を講じることとしております。

○施行時のホームヘルプサービス利用者に対する経過措置

低所得者世帯（※1）であって、法施行時にホームヘルプサービスを利用していた高齢者（※2）について、サービスに

ホームヘルプサービス利用者負担軽減措置図



係る利用者負担を当面三年間は三割とし、その後段階的に引き上げ、平成十七年度から十割（二割）にすることとしております。

なお、障害者の低所得世帯であって、従来ホームヘルプサービスを利用していた方についても平成十六年度までの間、同様の措置が行われます。

（※1）低所得者世帯

《ホームヘルプサービス》

平成12年度から14年度までの負担額

利用回数 (月/回)	8回
利用単価 (仮単価)	2,220円
利用総額	17,760円
自己負担額 (3%)	530円
本来の利用者負担 (10%)	1,776円

▽介護保険制度についてのお問い合わせ先
福祉課介護保険担当

生計中心者が所得税非課税であること（生活保護受給世帯を含む）。

（※2）法施行時にホームヘルプサービスを利用していた高齢者

概ね法施行前一年の間にホームヘルパーの派遣実績がある者

〔事例〕
介護度が要介護2の状態、週二回ホームヘルプサービスを利用した場合

法務局標津出張所が 中標津出張所に統合

2月28日
から

釧路地方法務局標津出張所の統合問題について、町では地域の実情を訴えながら存置運動を展開してきましたが、残念ながら、別海出張所とともに、新設される中標津出張所に統合されることが決定しました。



統合される法務局標津出張所

これに伴い町では、住民への行政サービスの低下を招かないように法務局に要望していますので、町民の皆様のご理解をお願いします。

この統合により、標津出張所の登記事務の取り扱いはいく月二十五日まで終了し、二月二十八日から中標津出張所で取り扱うこととなります。

なお、登記簿謄(抄)本の請求については、郵送により申請することができます。

【中標津出張所】

〒〇八六―一〇四九

中標津町東九条北一丁目

九番地一号

☎(〇一五三七) 三一―

二二

※不明な点がある場合は、

二月二十五日までは標津出張所で受け付けています。

☎二一三三三三

ごみの不法投棄はやめましょう

ごみをみだりに投げ捨ててはならないことは法律で定められています。

現在町内では、数箇所では不法投棄があり対応をしているところですが、この不法投棄防止のため、看板を設置し注意を呼び掛けているとともに、町内のパトロールを行っています。

ごみを発見した場合には投棄者に対して回収を指示し厳重な指導をしており、投棄者が発見できない場合には、警察署のご協力をいただき対応しています。

ごみの不法投棄は、生活環境を乱し、自然環境の破壊にもつながることから、法にのっとる厳格な対応も必要と考えています。

全国的に今、資源リサイクルやごみの排出抑制または不法投棄の規制など「廃棄物の適性処理」に取り組

んでいる中で、本町においても皆様のご協力をいただきながら積極的に推進していきます。



町道川北茶志骨線沿い(国道272号線から約1.5キロ付近)に不法投棄されたゴミの山(11月19日撮影)

ごみを不法に投げ捨てると「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき次のような刑罰が科せられます。

●一般廃棄物(一般家庭等から出るごみ)の場合

1年以下の懲役または300万円以下の罰金

●産業廃棄物(事業所や工場、工事等から出るごみ)の場合

3年以下の懲役若しくは1億円以下の罰金または併科

★連絡・お問い合わせは、住民課まで。

INFORMATION

野付半島に 「展望パーキング」完成



島に完成しました。
この施設は、大型バス三台、乗用車七台分の駐車場と、緑地、手すりなどを北海道が整備。釧根管内の観光施設などを記した総合案内サイン、展望四阿^{あずまや}を町が整備したもので、これまでの施設と同様に、道路管理者と町が一体となつ

て設置したものです。
展望パーキングは、町内にある素晴らしい自然景観を町内、町外の方々にゆつくりと楽しんでもらおうと設置しているもので、眺望のポイントとなる地点十カ所に計画。これまで国道二七二号の「茶志骨ポイント」と道道川北中標

津線の「川北ポイント」に引き続き、この「野付ポイント」は三カ所目となります。
また、根室海峡に浮かぶ北方領土・国後島や知床半島

町では、平成八年三月に、「晨（あした）を創る町民会議」がまとめた「標津町景観ガイドプラン」に基づいて、デザイン街路灯の設置、沿道の植樹などの景観づくり事業を実施してきましたが、このほど、この事業の一環となる「展望パーキング」が野付半

津線の「川北ポイント」に引き続き、この「野付ポイント」は三カ所目となります。
また、根室海峡に浮かぶ北方領土・国後島や知床半島

みんなが加入し、みんなで支える“国民年金”

2000年も国民年金に いっそうのご理解を！

すべての国民が老後に年金を受けられるように、昭和34年に国民年金制度が発足して以来40年が経過して、年金は国民生活にとって重要な位置を占めるようになりました。

本町の年金の給付状況は次のとおりとなっており、その受給額は、10億円以上に達しています。

年金は、月々の積み立てが将来の蓄えとなって実ります。今年も国民年金制度にいっそうのご理解をお願いします。

●本町の年金の給付状況（平成11年9月末現在）

◇国民年金加入者	2,136人
◇年金受給者	国民年金 1,120件
	厚生年金 611件
	船員保険 1件
合 計	1,732件
◇年金受給額	10億5,925万5,100円

★相談・お問い合わせは、福祉課まで

標津
病院

医・師・紹・介



田 中 優 一 医師
〈外科医〉

年 齢 34歳

勤務期間 3月31日まで

出 身 校 産業医科大学医学部

趣 味 スキー、サッカー、子守り

古布がありましたら ご連絡願います

標津病院では、古布（シーツ、バスタオル、タオル、シャツなどの綿製品）が不足しています。

皆様のご家庭で不用となっている古布がありましたら、ご連絡をお願いします。

★連絡・お問い合わせは、標津病院（☎2-2111）まで。

INFORMATION

優良勤労者5人

喜びの受賞

標津町表彰条例に基づき、平成十一年度の優良勤労者五人が決定され、小田桐町長が各事業所を訪れ表彰状を伝達したほか、あわせて町税三十年間納期内に感謝状が贈られました。

受賞者の方々を紹介します。

【優良勤労者】



田中昭一さん

(南5西1)
58歳

南忠類共栄水産



稗貫広亜さん

(北2西3)
55歳

太平洋建設工業㈱



舟見芳則さん

(南1西4)
56歳

太平洋建設工業㈱



菅原正徳さん

(川北)
57歳

㈱上田組



阿部トヨ子さん

(川北)
61歳

㈱上田組

町税三十年納期内 完納者 (二十一人)

▽浅野哲夫(茶志骨)▽小野勝利(古多糠)▽合田良一(茶志骨)▽榑孝悦(茶志骨)▽佐々木昭(北一西二)▽佐々木キミエ(伊茶仁)▽佐藤勝彦(茶志骨)▽鈴木本章(古多糠)▽滝本武門儀(川北)▽竹内秀夫(古多糠)▽馴山キヨミ(伊茶仁)▽新田喜一(標津)▽山岸利治(古多糠)▽有路寛一(南一西四)▽栗谷川敦子(南一西二)▽黒田義雄(南一東一)▽杉岡京子(川北)▽杉本伊佐(北一西四)▽福田哲也(川北)▽藤本満(南四東一)▽山崎巖(忠類) 敬称略

友好都市・青森県 大畑町では…

⑥

このコーナーは、友好都市の互いの話題を、毎月広報紙で紹介しています。

「近自然河川工法」 による川づくり

大畑町の中央を流れる大畑川を「魚の住む川に取り戻そう」と、市街地から上流約四[※]地点から延長一[※]ほどもを



「近自然河川工法」による河川工事(事業主体・県むつ土木事務所)が行われています(写真)。

十一月二十五、二十六日には同工法の第一人者である(株)西日本科学研究所の福留修文代表が平成九年に引き続き現地指導に入りました。

この工事は、川の中に大小の石をアーチ型に組み合わせ、川底の安定をはかり、流れに変化が付き、よどみができ、生物が棲息し、産卵できる場所を作ることができる「床止工」を採用。また、川幅を二層近く掘り、回りを大きな石で囲み、土盛り、木を植え、コンクリートの護岸に変わるものになる「土出し水制工」も実践しています。

この工事により、コケの成長、水生昆虫の発生、魚のえさ場やすみかとなり、魚が帰ってきて、川がよみがえってくるということです。

町長の動静

(11月21日～12月20日)

【11月22日】▽友好都市青森県大畑町訪問(青森県大畑町)

【11月25日】▽国有林所在市町村長会議(東京都)

【11月29日】▽市町村職員共済組合短期福利厚生事業運営委員会(札幌市)

【11月30日】▽市町村職員共済組合役員打合せ会(札幌市)

【12月1日】▽全国町村長大会(東京都)

【12月2～5日】▽根室町村会行政視察(沖縄県)

【12月6日】▽さかなの港町同窓会(東京都)

【12月8日】▽北海道町村会常任理事会、理事会、水産林務常任委員会(札幌市)

【12月10日】▽一部事務組合議会(中標津町ほか)▽商工会幹部との懇談会

【12月14～15日】▽第四回定例町議会

【12月16日】▽北海道森林審議会(札幌市)

【12月17日】▽固定資産評価審査委員会委員辞令交付▽町内小中学校校長、教頭懇談会

【12月20日】▽政府予算対策に係る中央要請(東京都)

(以上主なもの)

INFORMATION

交通安全・防災

守ります 地域の安全 「110番」

1月10日は「110番の日」です。事件や事故で110番をかける場合、一般加入電話からは中標津警察署に、携帯電話からでは釧路方面本部通信司令室につながりますので、住所や現場の目標などを正確にお知らせください。

また、相談や困りごとなどは、専用電話「#9110」をご利用ください。

—中標津警察署—

火の元はしっかり管理を

たばこやストーブ、マッチ、ライター、コンロなど、このような身の回りの品々が火災の原因となり、多くの方が亡くなっています。このうち高齢者が半数以上を占めています。火の元はしっかり管理されるようお願いします。

—標津消防署—

「通行止め」に ご協力を

冬期間の交通が危険であることから、一般道道別川北線の次の区間（2.4km）が通行止めとなっていますのでご協力をお願いします。

■通行止め期間 4月28日まで



—釧路土木現業所中標津出張所—

環境衛生

し尿の汲取りの申込みは 忘れずに

2月のし尿の汲取りの実施地域は次のとおりとなっていますので、汲取りを希望される方は忘れずにお申込みください。

■汲取実施地域

伊茶仁、忠類、浜古多糠、薫別、崎無異

■申込期日 1月25日（火）まで。

★申込み・お問い合わせは、住民課まで。

「野犬掃とう」 実施しています



■実施方法

- ・捕獲器及び麻酔銃による捕獲
- ・薬品の使用による薬殺

●注・意・事・項

最近、小学生が下校時に飼い犬とみられる犬に噛まれるという事故が発生しています。放し飼いは危険です。犬を飼われている方は絶対に放し飼いをしないよう十分ご注意ください。

なお、次のことを守り、犬の管理・徹底をお願いします。

- ・毎日散歩などの運動をさせるとともに、その際は必ずふんの後始末をしてください。
- ・犬小屋の周辺は常に清潔に保ってください。
- ・狂犬病予防注射は毎年1回必ず受診してください。
- ・生後90日を経過した犬は必ず畜犬登録をしてください。

—住民課—

戸籍の窓口から

（11月11日～12月10日届出分）

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	町内会名
佐々木 均さん	山本 晶子さん	東 浜 町
渡邊 浩一さん	田中奈美子さん	東 川 北
村山 勝幸さん	山下 美輝さん	双 葉 町
茅原 一也さん	野村 和子さん	茶 志 骨 パイロット
山中 忠博さん	浅沼 晴子さん	茶 志 骨 パイロット

お誕生おめでとう

おなまえ	町内会名	保護者の氏名
椎久 翔也くん	望ヶ丘町	椎 久 紀 孝子
鈴木 玲央くん	寿 町	鈴 木 生 雄 恵
三浦 文也くん	曙 町	三 浦 也 人子
匂坂 太郎くん	茶 志 骨	匂 坂 安 小百合
町野 翔悠くん	若 草 町	町 野 卓 二津
仲澤 大翔くん	双 葉 町	仲 澤 千 悟 晶

おくやみ申し上げます

氏 名	町内会名	年 齢
南 川 佳 信さん	桜 木 町	36歳
江 口 貴さん	桜 木 町	44歳
中 野 正 二さん	弥 栄 町	56歳

寄付・寄贈

ありがとうございました

●社会福祉基金として町に——

- ・根室信用金庫

●交通安全指導車購入費として町に

- ・町交通安全指導車寄贈発起人会

●町社会福祉協議会に——

- ・双葉町町内会・聖友標津支所
- ・菊池マツエさん

●はまなす苑に——

- ・岡田恒芳さん（別海町）・小林理容院
- ・角田忠男さん（羅白町）

●標津病院に——

- ・箭浪昇さん

●図書館に——

- ・澤口舞さん・澤口将司さん

INFORMATION

土地

大規模な土地取引には 届出が必要です

国土利用計画法により、1 畝以上の土地取引には、契約締結日から2 週間以内に買主が届け出なければなりません。

■届出に必要なもの

- ・土地売買等届出書
- ・契約書の写し
- ・土地の位置図 など

★届出・お問い合わせは、企画振興課まで。

スポーツ

☆ 1 月のスポーツ ☆

5日(水)

- ◇第24回新春スプリント大会
〔9時～町営リンク〕

16日(日)

- ◇管内高校選抜バレーボール大会
〔9時～総合体育館〕

16日(日)・23日(日)

- ◇ファミリースキー教室
〔10時～金山スキー場〕

19日(水)

- ◇ソフトバレーボールリーグ戦大会開幕
〔19時～総合体育館〕

24日(月)～27日(木)・31日(月)～2月3日(木)

- ◇初心者スケート教室
〔24日～27日／15時～町営リンク〕
〔31日～2月3日／15時～川北リンク〕

25日(火)・28日(金)

- ◇シェイプアップ教室
〔10時～総合体育館〕

26日(水)

- ◇ニュースポーツチャレンジデー
〔19時～総合体育館〕

30日(日)

- ◇基礎スキー講習会
〔10時～金山スキー場〕
- ◇ソフトバレーボール道民スポーツ町内予選会
〔9時30分～総合体育館〕

1 月の健康相談・健診日程表

乳 幼 児

■乳幼児相談

18日(火)〈標津〉

〔9時～10時・13時30分～14時30分／ひまわり〕

※午前の部 13カ月児 午後の部4・7・10カ月児対象

19日(水)〈川北〉

〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕

※4・7・10・13カ月児対象

■2歳児相談

18日(火)〈標津〉

〔9時～10時／ひまわり〕

19日(水)〈川北〉

〔13時30分～14時30分／川北生涯学習センター〕

■歯ピカ教室

11日(火)・12日(水)

〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／ひまわり〕

成 人

■一般健康相談

28日(金)

〔13時～15時／ひまわり〕

■糖尿病健康相談（予約制）

20日(木)

〔10時～16時／ひまわり〕

妊 婦

■ママスクール

14日(金)・21日(金)・28日(金)

〔10時～12時／ひまわり〕

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」(☎2-1515)まで
お気軽にどうぞ…。

ごみの収集日

一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです)〈有料〉	可燃物	不燃物	資源ごみ ・ 粗大ごみ
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	11日(火) ・ 25日(火)	12日(水) ・ 26日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	10日(月) ・ 24日(月)	13日(木) ・ 27日(木)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	火・金	10日(月) ・ 24日(月)	14日(金) ・ 28日(金)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

INFORMATION

税

申告関係書類の 提出はお早めに

平成11年分の申告関係書類及び償却資産申告書、牛の頭数調べ（農家の方のみ）については、次の提出期限を厳守のうえ提出願います。

■提出期限 1月31日（月）

★提出・お問い合わせは、税務課まで。

申請

競争入札参加資格申請の 受付を行います

根室支庁では、平成12年度に道が発注する工事、設計、製造、物品の購入などの競争入札に参加される方の資格審査の申請を次のとおり受け付けます。

■受付期間

1回目：1月14日（金）～24日（月）

2回目：2月4日（金）～15日（火）

■受付時間 9時30分～16時30分

■受付場所 根室支庁会計課

■資格の有効期間 2年間

※平成11年度に資格を得ている方は申請の必要はありませんが、平成12年度に資格の種類の追加または発注機関の追加をする場合は申請が必要となります。

★申請の受け付け・お問い合わせは、同課（☎01532-3-6131）まで。

助成

「コミュニティ助成事業」で スケート備品を購入



標津スケート協会（南等会長）では、財団法人自治総合センターの「コミュニティ助成事業」の助成を受け、スケート大会で使用するコーナーマットや審判台、ベンチなどを購入しました。

この事業は、同センターが全国自治宝くじ普及広報事業費として受け入れる宝くじ受託事業収入を財源として、住民の行うコミュニティ活動を促進しその健全な発展を図るとともに、宝くじの普及広報を目的として行われているものです。

同会は、管内でも最大規模の大会やその他各種大会などを主催し青少年の健全育成に寄与しているほか、住民に対しても長く厳しい冬期間を明るく活力のあるものとするためのさまざまな活動を行っており、この購入でよりいっそうのコミュニティ活動の充実が期待されます。

募集

「遊び方教室」参加 親子を募集中

近年、地域や家庭内において、子育ての悩みや不安を持つ親が多くなっています。

町では、このような幼児を持つ家庭に対して支援を行う「地域子育て支援事業」のひとつとして、今年度5回目の「遊び方教室」に参加される親子を次のとおり募集しています。

■日 時 2月2日から2ヵ月間
（毎週水曜日に開催）

■内 容

育児の大切さや楽しさ、子供への関わり方について遊びを通して学ぶ

■対 象

1歳から4歳までの子供とその親

■定 員 10組

■申込締切 1月25日（火）まで

★申込み・お問い合わせは、双葉保育園内・地域子育て支援センター（☎2-2404）まで。

水道

水道の凍結に ご注意ください

家を留守にする場合や就寝前には必ず水を落とすなど、水道の凍結には十分注意しましょう。

■もし凍結したときは…

蛇口にタオルや布をまきつけて熱湯をかけてください（水抜き栓のパイプ部分は凍結しませんので、熱湯をかけないでください）。それでもなお水が出ない場合は、上下水道課または次の業者に連絡してください。

・大標設備工業（有）☎2-3332

・出口設備（有）☎2-2479

・更谷商会 ☎5-2036

・奥商会 ☎5-2021

— 上下水道課 —

新 春「鮭飯寿司」大試食会

■と き 1月8日（土） 午後2時～

■と ころ 生涯学習センター「あすぱる」

「他の家の鮭飯寿司も食べてみたい」「他の人はどんな漬け方をしているのか」「試食だけでもいいの？」という方はぜひお越しください！

なお、1月7日（金）まで参加（出品）者を受け付けています。多数の皆さんの出品をお待ちしています。

★参加（出品）申込み・お問い合わせは、標津町観光協会事務局（商工観光課内）まで。

スポーツを通じて:

早いもので標津町に住んで二十五年が経ち、地域の皆様には色々とお世話になっております。

私は別海町で生まれ、仕事の都合で中標津町から今の川北に住み、ここで多くの友人・仲間

に恵まれ、私にとつて住心地の良い所です。

来たばかりの頃は、知り合いもなく、外出は家と職場の往復、それに買物ぐらい。その頃、若いことから、あまり世間のことが分からず

淡々と過ごしていましたが、そのうちに子供が生まれ、子供を通じての仲間ができ、何か自分にとつて充実した事を見つけようと思ひ、バレーボールを始めました。

当時は、まだ体育館もなく、地元の小、中学校の体育館を借り、学校の先生をコーチに週一

程度度の練習に励みました。

夏の練習は良いのですが、冬はストーブを燃やしながらの練習。それでも体育館も体も温まらなく大変でした。また、時には練習試合で古多糠や北標津へ



しももとともこ 下本友子 さん
(川北寿町)
主婦

状態です。

ここでソフトバレーについて説明すると、バレーボールよりもコートの広さが三分の一、ボールは柔らかく、初心者の方でもすぐにプレーできます。ですから年齢に関係なく、楽しくできる生涯スポーツなので、体が動く限り続けられると思います。

出掛けた事もあり、今となつてはとても懐かしく思います。

このバレーボールは、十年近く続きその後、施設の利用者も多くなり、新たに体育館が完成。今ではバレーボールより、ソフトバレーの方が競技人口が増えて、大会が近づくにつれ、体育館の利用人数もあふれるほどの

また、全道・

全国のチームの中には、高齢者の方も数多くいるのです。楽しくプレーする姿は、とても若くハツラツとしています。私もその人達を見て、年配者の皆さんが頑張つて

いるのにやれない事はないと思ひ、現在に至っています。

今では私の趣味も増えて、子供達に「最近、お母さんは出掛け過ぎ」と言われながら続けております。

次のまちの声は、畠山秀昭さん(茶志骨)です。

編集のまど

▽明けておめでとうございませう。一九九九年もあつという間に過ぎ、いよいよ二〇〇〇年。新年を迎え広報紙づくりも、初心にもどり、頑張つていきます。▽新年号の表紙は、まちの航空写真。海と山、そして緑の大地と、自然に恵まれた素晴らしい環境であることは言うまでもありません。この自然をいつまでも大切にしたい、二十一世紀に向けて「ジャンプ」していきたいですね。(H)▽今年には西暦二〇〇〇年で二十世紀最後の年。二十一世紀を新たな気持ちで迎え、自分自身が飛躍していくためにも、今年を(今年こそは?)良い年にしたいと思つています。▽今年も「広報しべつ」に皆さんの意見や要望をどしどしお寄せください。▽ところで、皆さんのご家庭では、「西暦二〇〇〇年問題」についてなにか問題はなかったでしょうか?(M)

人のうごき

- ・人口 6,526人 (- 1)
- ・男 3,183人 (- 2)
- ・女 3,343人 (+ 1)
- ・世帯数 2,366世帯 (- 1)

◇平成11年12月1日現在
()は前月比

町内の交通事故

- ・人身事故 3件 (17)
- ・負傷者 3人 (25)
- ・死亡者 0人 (3)
- ・物損事故 14件 (200)

◇1月1日～11月30日まで
()は累計

広報しべつ

- ・発行日/平成12年1月1日
- ・編集・発行/標津町役場 総務部企画振興課(広報統計担当)
〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目1番3号
☎01538-2-2131・FAX2-3011
- ・印刷/標津印刷(株)